

授業科目	小児看護学方法論 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2 年次前期	1	講義	30 時間
到達目標	1.子どもの成長・発達に応じた健康の保持増進のための看護について理解する。					講師 小児科医師 専任教員
	2.疾患や障害が子どもや家族(養育者)に及ぼす影響を理解し、必要な看護について理解する。					
	3.子どもの状況に合わせた必要な看護について理解する。					
	4.小児期に特有な疾病・障害とその主要症状、検査、治療について理解する。					
授業計画						
1 回	健康な子どもの看護：発達段階に応じた関わり方、日常生活の看護					専任教員 (8 時間)
2 回	疾病・障害が子どもと家族(養育者)に及ぼす影響 子どもの健康問題と看護					
3 回	外来における子どもと家族(養育者)の看護 入院中の子どもと家族(養育者)の看護					
4 回	在宅療養中の子どもと家族(養育者)の看護 災害時の子どもと家族(養育者)の看護					
5 回	1.小児科総論：小児科の特徴、各発達段階における疾患の特徴					小児科医師 (22 時間)
6 回	2.染色体異常、先天異常、新生児期に特徴的な疾患					
7 回	3.代謝・内分泌疾患					
8 回	4.アレルギー性疾患、感染症・予防接種					
9 回	5.呼吸器疾患、循環器疾患					
10 回	6.消化器疾患					
11 回	7.血液・造血器疾患、悪性新生物					
12 回	8.腎・泌尿器疾患					
13 回	9.神経疾患					
14 回	10.運動期疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、精神疾患					
15 回	11.事故・外傷、小児の救急蘇生、虐待					
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 専任教員(20%)、小児科医師(80%)を総合して評価する					
教科書	専任教員：系統看護学講座 専門分野 小児看護学①小児看護学概論小児臨床看護総論 医学書院 小児科医師：系統看護学講座 専門分野 小児看護学①小児看護学概論小児臨床看護学 総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学②小児看護学各論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 母性看護学②母性看護学各論 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト、講義資料・参考文献を用いて学習した内容を整理し、理解を深める。					